

# 令和3(2021)年度シラバス【数学Ⅰ】

68 新潟県立高田南城高等学校(通信制)

単位数	必履修・選択	レポート数	出席義務時数	テスト回数
4	必履修	12	4	2

教科書	学習書・他教材
改訂 新数学Ⅰ(東京書籍)	数学Ⅰ入門(全国私立通信制高等学校協会編) 新数学Ⅰ(全国高等学校通信制教育研究会編)

学 習 目 標
中学校までの復習から入ります。この機会に皆さんは基礎学力を確認してみてください。その後、下記の「学習計画」にある内容を学習します。これらは高校数学では最も基本的な部分です。基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学のよさを認識し、活用できるようにしましょう。

学 習 計 画		
学習項目	学 習 内 容	試験範囲
数学Ⅰを学ぶための準備(数学Ⅰ入門)	整数、分数、正の数・負の数、文字式、式の計算、乗法公式、因数分解、1次方程式、平方根、2次方程式、1次関数	前期試験
1章 数と式	文字を使った式、整式整式の加法減法、整式の乗法、乗法公式、因数分解 数の分類、根号を含む式の計算 1次方程式、不等式、不等式の性質、不等式の解き方 不等式の利用、2次方程式とその解き方	
1節 整式		
2節 実数 3節 方程式と不等式		
2章 2次関数	関数、2次関数とそのグラフ 2次関数の最大値・最小値、2次関数のグラフと2次方程式、2次関数のグラフと2次不等式	後期試験
1節 2次関数とそのグラフ		
2節 2次関数の値の変化		
3章 三角比	三角形、タンジェント、サインとコサイン、三角比の利用、三角比の相互関係 三角形の面積、正弦定理、余弦定理、三角比と座標、三角比の相互関係、鈍角の三角比と計量	
1節 鋭角の三角比		
2節 三角比の応用		
4章 集合と論証	集合、命題と集合、命題と証明	
1節 集合と論証		
5章 データの分析	データと度数分布表、代表値、散らばりぐあいを表す値 分散と標準偏差、相関関係、相関係数	
1節 データの分析		

評 価 規 準 と 評 価 方 法			
評価は、次の観点から行います。			
①関心・意欲・態度	②数学的な見方や考え方	③数学的な技能	④知識・理解
数学の考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数学における基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けている。
以上の観点を踏まえ、2回のテストの点数と、レポートをA～E(Eは再提出)で評価して、それを点数化したものとで総合評価します。			

授 業 の 進 め 方、課 題 ・ 提 出 物 な ど
通信制での学習は「面接指導」と呼ぶことで分かるように、家庭での自学自習がどの程度進んでいるかを確認するために設けてあるのですが、出来るだけレポートが書けるように具体的な指導を心がけます。課題はレポート以外にはありません。レポートは提出期限を過ぎると評価が下がります。

担 当 者 か ら の メ ッ セ ー ジ
「わからない」と言う前にまず教科書を読んでください。例題をまねて、問題を解いてみてください。学習書には更に丁寧に解説されています。根気強く何度も繰り返し取り組んでください。「わかった!」という感動を必ず経験できるはず。それでも理解できないならば質問にきてください。